

Revolution Starts Hear



SC-608 クイックリファレンスガイド

製品の詳細は QR コードをスキャンしてください。

安全のために

下記の注意事項を守らないと、

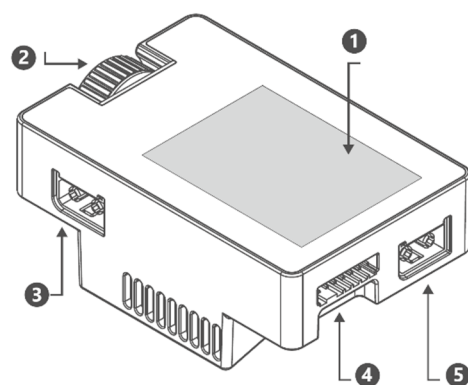
火災・感電などにより死亡や大けがなどの事故の原因となります。

- この製品はラジコン模型用のリチウム系 2 次電池、ニッカド・ニッケル水素電池、鉛バッテリー専用充電器です。それ以外には使用できません。
- 振動の多い場所や直射日光や湿気、埃を避けて使用/保管してください。
- 使用中は本体下面の冷却口を塞がないでください。また冷却用ファンが回転しているか確認してください。
- 充電・放電の各種設定値はバッテリー製造元の指示に従ってください。
- 入力可能な電源電圧は 9~32V/DC です。接続の際はプラス・マイナスをよく確認してください。
- 燃えやすいものを避け、風通しの良い場所で不燃・絶縁性の台の上に設置してください。
- 使用中は常に監視を怠らず、異常を感じた場合はすぐに使用を中止してください。
- 充電・放電が完了したら、必ずバッテリーを取り外してください。
- お客様が本製品をご使用になった結果について、製造元と販売元は一切の責任を負いませんので、予めご了承のうえご使用ください

主な仕様

入力電圧： DC 9-32V	対応バッテリー： LiFe/Lilon/LiPo/LiHv(1-6S)
出力電圧： 0-30V	NiMH/NiCd(1-16S)
充電電流： 0.1-8.0A	Pb(1-12S)
放電電流： 0.1-3.0A	ディスプレイ： 2.4" 320x240 IPS LCD
最大充電出力： 150W	使用可能温度： 0-40°C
最大放電能力： 5W	保管可能温度： -20-60°C
バランス電流： 500mA/cell	サイズ： 88x58x21mm
バランス対応セル： 6S	重量： 110g

各部の名称



1. 2.4 インチ IPS ディスプレイ
2. スピードシャトルキー
3. 電源入力コネクタ
4. バランスポート
5. バッテリーコネクタ

スピードシャトルキーの操作

長押し：システム設定メニュー または 設定終了
 クリック：タスク設定メニュー または 設定の保存
 回転：メニュー選択

パラメータの初期設定値

各種設定値はバッテリー製造元の指示に従ってください。

	Nixx	Pb	LiFe	Lilon	LiPo	LiHV
セル電圧	1.20V	2.00V	3.20V	3.60V	3.70V	3.80V
充電完了(V)	1.40V	2.46V	3.65V	4.10V	4.20V	4.35V
ストレージ	×	×	3.30V	3.70V	3.80V	3.85V
放電完了(V)	1.10V	1.90V	2.90V	3.20V	3.30V	3.40V
プレ充電(V)	0.90V	1.80V	2.60V	2.90V	3.00V	3.10V
バランス	×	×	○	○	○	○
対応セル数	1-16	1-12	1-6	1-6	1-6	1-6
最大充電(A)	8.0A	8.0A	8.0A	8.0A	8.0A	8.0A

充電するバッテリーの種類をよくお確かめのうえ、正しい設定でお使いください。設定を誤るとバッテリーの破損や爆発などの原因となり大変危険です。

充電電流の設定について

バッテリーの容量は「mAh」で表示されます。1500mAh と表示されている場合、
 1C では 1500mAh x 1 = 1500mA = 1.5A
 2C では 1500mAh x 2 = 3000mA = 3A
 3C では 1500mAh x 3 = 4500mA = 4.5A …となります。
 特に指定がない限り、充電電流は 1C 以下に設定してください。

参考：1C で充電する場合、60 分から 70 分で満充電となります。

タスク設定(Task Setteing)

スピードシャトルキーをクリックするとタスク設定メニューになります。メニュー内の項目は以下のとおりです。

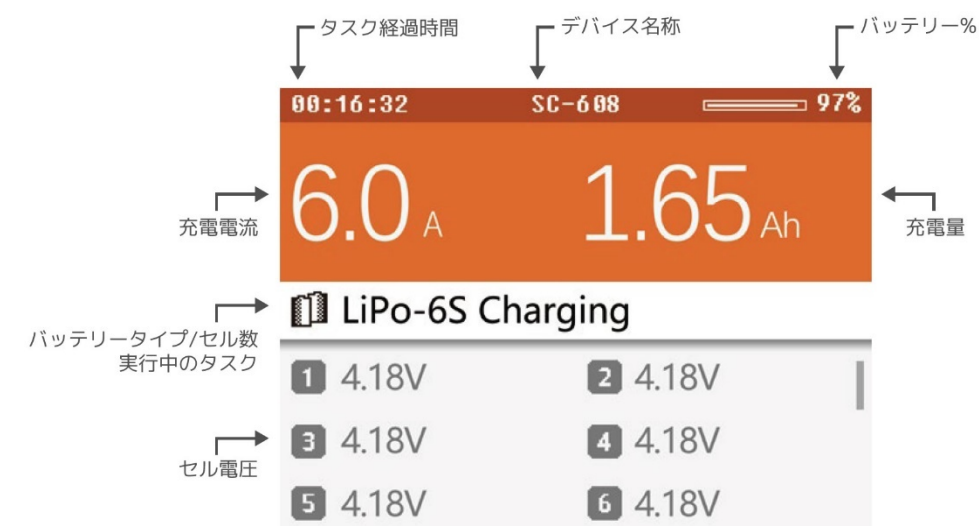
Task	動作(充電・放電・ストレージ)を選択します。
Battery	バッテリーの種類を選択します。
Cells	バッテリーのセル数を選択します。 balancer を使用する場合は自動設定されます。
Current	電流値を設定します。 充電は 0.1-8.0A、放電/ストレージは 0.1-3.0A です。
Start	タスクを実行します。
Back	前の画面に戻ります。

充電はセルを直列に接続して行われます。リチウム電池はセル毎の電圧を正確に計測し、セル間の電圧差を調整する必要がありますので、必ず balancer に接続してください。

バッテリーの活性化と修復機能

充電開始時のバッテリー電圧がプレ充電電圧を下回っている場合、自動的に弱い電流値(0.1A)で充電し、バッテリーの活性化と修復を試みます。
 ※すべてのバッテリーが修復できる訳ではありません。

ディスプレイ



動作中にスピードシャトルキーを回転させると、バッテリー電圧と内部抵抗、パラメータ表示を切り替えることができます。
 ※バッテリー電圧と内部抵抗は balancer 使用時に表示されます。

システム設定(System Setting)

スピードシャトルキーを長押しするとシステム設定メニューになります。
メニュー内の項目は以下のとおりです。

Max Input Power	電源の出力に合わせて設定します。(50-160W)
Min Input Voltage	電源の電圧に合わせて設定します。(9-24V)
Backlight	バックライトの明るさを設定します。 (high, medium, low, Auto)
Volume	音量を調節します。(high, medium, low, off)
Language	言語を設定します。(English, 日本語…)
Firmware Share	※通常は使用しません。
OS Info	システムソフトウェア情報を表示します。
Self-testing	自己診断を実行します。
Back	前画面に戻ります。

お使いの親電源に合わせて、Max Input Power を設定します。例えば、12V/10A のスイッチング電源を使用する場合、Max Input Power は $12V \times 10A = 120W$ となります。

自動車の鉛電池を親電源として使用する場合は、Min Input Voltage を 12V に、LiPo 6 セルバッテリーの場合は 21V に設定し、Max Input Power は親電源の定格を上回らない値を設定してください。

トラブルシューティング

電源を接続するとエラーが表示される

起動時の自己診断機能で何らかの不具合を検知しています。異音やにおい等の異常がなければ、全ての機器を取り外して5分放置した後、再度電源を入れてください。

バッテリーのプラスとマイナスを逆に接続した

すぐにバッテリーを取り外して、正しい極性で接続しなおしてください。もしエラーが続く場合は、コネクタに汚れや錆、焼け焦げがないか確認してください。

正常に充電されない

親電源が確実に接続されているか、また親電源の出力がシステム設定メニューの値と合致しているか確認してください。

本機の性能をフルに発揮するには 160W を出力できる親電源が必要です。

日本国内における保証と免責事項

この製品は優れた品質管理のもとに製造されておりますが、流通の過程において予測不可能な故障が発生する可能性は否定できません。保証書に定められた期間内に万が一不具合が認められた場合は、購入先へご連絡ください。

なお、以下の場合は保証の対象になりません。

- >誤った使用方法による故障、破損。
- >業務での使用中に発生した故障、破損。
- >天災などの外部要因による故障、破損。
- >輸送時における故障、破損。
- >購入日が証明できない場合。

この製品の保証は日本国内においてのみ有効です。また、この取扱説明書は英文取扱説明書の内容を可能な限り反映するよう努めて作成しましたが、潜在的な誤りがあることは否定できません。

本製品を使用することにより生じる結果や損害等について、製造元と販売元は一切の責任を負いません。